

豚コレラ対策を含む長野県における畜産振興策の積極的な推進について

【経済部会】

畜産業は、長野県農業において大変重要であるが、様々な課題を抱えており、各地域や関係団体の経営努力だけでは抜本的な解決には繋がりにくいことから、県一体となり、生産から流通販売まで含めたマーケティングの展開と、安心して安全、効率的なと畜加工処理による更なる信州ブランドの確立に取り組む必要がある。

そのような中、豚コレラの感染拡大により、養豚農場を中心に甚大な被害が広がっている。県では、飼養豚へのワクチン接種や野生イノシシへの経口ワクチン散布、その他防疫・まん延防止対策等を実施していただいているところであるが、更なる感染拡大防止に向けた継続的な対策をはじめ、ワクチン接種豚の円滑な流通や価格の維持、風評被害防止等に対し、早急に措置を講じるよう要望する。

また、と畜場や加工処理施設には、老朽化が進んだ施設も多く、改築に向けて多額な投資を必要とするなどの課題を抱えている。これまで長野県の食肉処理施設は、信州ブランドの確立、「おいしい信州ふーど」の発展等、大いに貢献してきたところであり、TPP、日 EU・EPA に対抗できる強い畜産業づくりには、県産食肉の競争力強化が必須であるとと畜場を公的責任分野と捉え、経営的に厳しい状況を迎えていると畜加工処理施設の問題への積極的な関与と、畜産業に対する財政的支援を要望する。